

2022年2月10日

Press Release
報道関係各位

一般財団法人日本民間公益活動連携機構

**休眠預金等活用法に基づく資金分配団体の決定について
～2021年度通常枠〈第2回〉の助成対象事業を選定～**

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（所在地：東京都千代田区、理事長：二宮 雅也、
英文名：Japan Network for Public Interest Activities、略称：JANPIA）は、2021年度
通常枠〈第2回〉の休眠預金等活用法に基づく資金分配団体を決定しました。

今回、28事業（27団体）の申請があり、審査の結果、10事業（9団体）、最長3か年の助成
総額約14.2億円（事業費約10.93億円、基盤強化支援費用約3.23億円）を選定しまし
た。

※事業区分別の資金分配団体名とその事業名は別表の通りです。

資金分配団体は、休眠預金等の活用対象となる事業領域において、社会の諸課題の効果
的・効率的な解決に向けた事業を企画・設計し、民間公益活動を行う団体（実行団体）を公
募により選定、助成等の資金的支援及び経営・人材支援等の非資金的支援を伴走型で提供し
ます。

今後、各資金分配団体は、実行団体の公募、審査、選定を行い、実行団体が今年度中に
活動を開始する見込みです。なお、各資金分配団体の事業の詳細や実行団体の公募などの
情報は、順次 JANPIA のウェブサイトにて公表予定です。

今後のスケジュール（予定）

資金分配団体による実行団体の公募・選定	2月下旬以降 各資金分配団体 において体制が整い次第順次開始
資金分配団体から実行団体への助成金交付 ～実行団体における事業開始	実行団体選定後順次実施

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>
一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

企画広報部

TEL：03-5511-2026

Mail：info@janpia.or.jp

(別表) 選定された資金分配団体とその申請事業名一覧

団体名	申請事業名	助成予定額
草の根活動支援事業 全国 1 事業		
一般社団法人 全国コミュニティ財団協会	地域の資金循環とそれを担う組織・若手支援者を生み出す人材育成事業	1.37 億円
草の根活動支援事業 地域 4 事業		
一般財団法人 泉北のまちと暮らしを考える財団 ★	泉北ニュータウンの孤立と地域をつなぐ	1.53 億円
一般財団法人 筑後川コミュニティ財団	誰ひとり取り残さない居場所づくり	0.75 億円
公益財団法人 みらいファンド沖縄 *	認知症の方々も安心・安全な外出を担保できるまちづくり	1.46 億円
特定非営利活動法人 北海道 NPO ファンド	地方における学習・能力向上機会の拡充による選択格差の解消	0.98 億円
イノベーション企画支援事業 1 事業		
一般社団法人 グラミン日本 *★	シングルマザーのデジタル就労支援	1.38 億円
ソーシャルビジネス形成支援事業 1 事業		
一般社団法人 SINKa	SB 第 3 世代による九州位置(地域)価値創造事業	1.37 億円
災害支援事業 3 事業		
公益財団法人 地域創造基金さなぶり	女性の活躍が災害の困難を軽減する地域創り	2.93 億円
特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム	(防災・減災) 発災から復興期を見据えた食糧支援体制構築	1.35 億円
特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム	(緊急災害) 災害時食支援ラストワンマイルへの到達事業	1.04 億円

※ 団体名に「*」があるものは、コンソーシアムにて選定された団体です。

※ 団体名に「★」があるものは、資金分配団体として初選定の団体です。

※ 助成予定額は億円単位で表示し、百万円未満を四捨五入しています。

その他の申請団体の情報は、JANPIA のウェブサイトに掲載しています。